

製品名: IKZF1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82671**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	57.5kDa

抗原情報

遺伝子名	IKZF1
別名	IK1; LYF1; LyF-1; CVID13; IKAROS; PPP1R92; PRO0758; ZNFN1A1; Hs.54452
遺伝子 ID	10320.0
SwissProt ID	Q13422
免疫原	大腸菌で発現したヒト IKZF1 (AA: 401-520) の精製された組み換え断片。

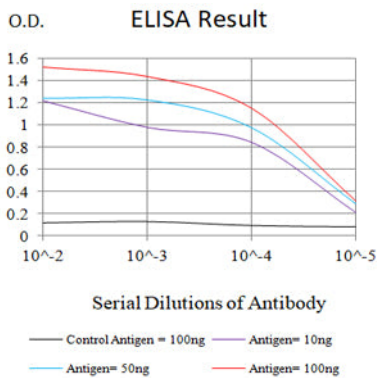
背景

この遺伝子は、クロマチンリモデリングに関連するジンクフィンガー DNA 結合タンパク質ファミリーに属する転写因子をコードしています。このタンパク質の発現は胎児および成人の造血リンパ球系に限定されており、リンパ球分化の調節因子として機能します。

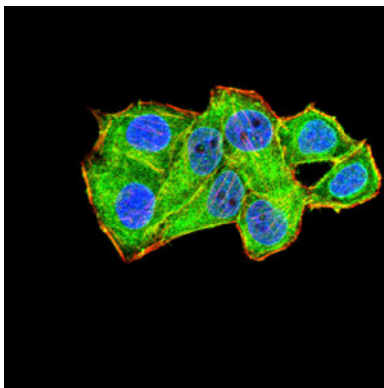
この遺伝子については、異なるアイソフォームをコードする複数の選択的スプライシング転写バリエーションが報告されています。ほとんどのアイソフォームは共通のC末端ドメインを有しており、このドメインにはヘテロまたはホモ二量体形成、および他のタンパク質との相互作用に必要な2つのジンクフィンガーモチーフが含まれています。しかし、アイソフォームはDNAに結合するN末端ジンクフィンガーモチーフの数や核局在シグナルの有無が異なり、DNA結合特性を持つものと持たないものが存在します。標的遺伝子のプロモーターにおける特定のコアDNA配列要素への高親和性結合に必要な3つ以上のN末端ジンクモチーフを含むアイソフォームはごくわずかです。DNA非結合性アイソフォームは主に細胞質に存在し、優性負性因子として機能すると考えられています。一部の優性負性アイソフォームの過剰発現は、急性リンパ芽球性白血病（ALL）などのB細胞悪性腫瘍と関連付けられています。

研究分野

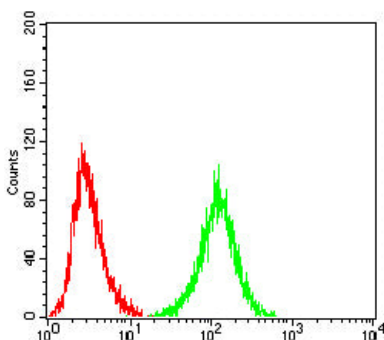
画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



IKZF1 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



IKZF1 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Jurkat 細胞のフローサイトメトリー分析。

